

11

セキュリティ (安全)

発信者番号通知を設定する （発信者番号通知）	11-2
番号非通知の電話を受けない （発信者番号通知ガード）	11-3
特定の番号からの電話を受けない （着信拒否）	11-4
通話や通信中の着信を設定する （通信中着信）	11-6
暗証番号を設定する	11-8
ボタン操作をロックする（キーロック）	11-9
ダイヤルをロックする	11-10
無操作が続いたときにダイヤルロックする （オートロック）	11-11
紛失／盗難時に電話機をロックする （リモートロック）	11-12
管理者による制限を行う （管理者ロック）	11-18
設定をリセットする（設定リセット）	11-26
メモリー一括消去	11-27
リセット一覧表	11-29


発信者番号通知を設定する（発信者番号通知）

発信者の電話番号を表示する機能を持つ電話機にかけたとき、本電話機の電話番号を相手の電話機の画面に表示するかどうかを設定できます。

1 待ち受け画面で （Menu ボタン）

  と押す

発信設定の画面が表示されます。

2  を押して、「1. 発信者番号通知」を選択する

3 （決定）を押す

4  を押して、「1.ON」または「2.OFF」を選択する

5 （決定）を押す

「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ


- お買い上げ時は「ON」に設定されています。


番号非通知の電話を受けない（発番号非通知ガード）

発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに、着信音を鳴らさずに相手に非通知メッセージを流すことができます。番号非通知の理由ごとに設定します。

1 待ち受け画面で （Menuボタン）
  と押す

4 ○（決定）を押す

2  を押して「1.発番号非通知ガード」
を選択し、○（決定）を押す

5  を押して、「1.ON」を選択する

発番号非通知ガードの設定画面が表示されます。

6 ○（決定）を押す

「設定しました」と表示され、手順2の発番号非通知ガードの設定画面に戻ります。

3  を押して、設定したい非通知理由を
選択する

続けて他の項目を設定するときは、手順3から操作を繰り返します。

ユーザ非通知

相手が発信者番号非通知を設定しているとき

公衆電話発信

相手が公衆電話からかけてきたとき


通知不可能

相手が国際電話など通知サービスのない電話
回線を使ってかけてきたとき

■発番号非通知ガードを設定すると

番号非通知の電話がかかってくる

着信音を鳴らさずに、相手に非通知メッセージを流します。

画面には「非通知メッセージ再生中」というメッセージと非通知理由が表示されます。メッセージの再生が終了すると切断します。非通知メッセージの再生中は  を押して電話にすることができます。

番号非通知でライトメールが送られてくると

ライトメールを受信せず、相手に非通知メッセージを流します。

番号非通知のデータ着信があると

着信を切断します。

番号非通知のデータ着信を除き、着信のあったことは不在着信として着信履歴に記録されます。

お知らせ

- 本機能の設定にかかわらず、Eメール自動受信を設定している場合には、Eメールは受信されます。「Eメール自動受信機能を設定する」(※8-33ページ)
- 本機能は、ウィルコムが提供する番号非通知ガードサービスとは異なります。
- お買い上げ時は、すべて「OFF」に設定されています。

特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）



着信を拒否したい相手の電話番号を登録します。

電話番号を登録すると、登録した相手から電話がかかってきたり、ライトメールやデータが送られてきたときに、応答しないようにすることができます。着信音やバイブレータは動作せず、相手側には“ツーツー”という音が聞こえます。登録件数は10件までです。

着信拒否に登録した相手からの着信は、着信履歴に残りません。

着信拒否番号を登録する

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)


8 6 と押す

着信設定の画面が表示されます。

2 を押して「2.着信拒否」を選択し、 ○ (決定) を押す

着信拒否番号の一覧が表示されます。電話帳に登録されている番号は名前が表示されます。未登録の番号は「未登録」と表示されます。

▶ 登録されている番号を確認するには

 を押して確認したい番号を選択し、○ (決定) を押す



元の画面に戻るには  (戻る) を押します。

3 (メニュー) を押す



4 を押して「1.登録」を選択し、 ○ (決定) を押す

5 ダイヤルボタンで着信拒否したい相手の番号を入力する


▶ 電話帳から入力する場合

 (メニュー) を押し、 を押して「1.電話帳」を選択し、○ (決定) を押す
「電話帳を使って電話をかける」(※7-36ページ)

▶ リダイヤル／着信履歴から入力する場合

 (メニュー) を押し、 を押して「2.リダイヤル」または「3.着信履歴」を選択し、○ (決定) を押す
「リダイヤル／着信履歴／ダイヤルメモで電話をかける」(※7-6ページ)

▶ 先頭数桁の番号が一致したときに拒否する場合

拒否する番号に続けて  を押す
たとえば「070 *」と入力すると、先頭3桁が「070」の着信を拒否できます。

6 ○ (決定) を押す

登録が完了し、「設定しました」と表示されたあと、手順2の着信拒否番号の一覧に戻ります。

お知らせ

- すでに着信拒否番号が10件登録されているときは、登録することができません。
- 海外からの電話番号も登録することができます。

着信拒否番号を消去する

1 着信拒否番号の一覧を表示させる

「着信拒否番号を登録する」(☞ 11-4ページ)の手順1～2

2 を押して消去したい番号を選択する

3 (メニュー) を押す

4 を押して「2.個別消去」を選択し、 (決定) を押す

5 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

6 (決定) を押す

選択した着信拒否番号が消去され、「消去しました」と表示されたあと、手順1の着信拒否番号の一覧に戻ります。

通話や通信中の着信を設定する（通信中着信）


通話またはデータ通信中に新しい着信があったとき、着信を通知したり新しい着信に切り替えたりすることができます。

1 待ち受け画面で  (Menu ボタン)

  と押す

3  を押して「1.ON」または「2.OFF」を選択する

2  を押して「3.通信中着信」を選択し、

 (決定) を押す

4  (決定) を押す

「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

■動作内容



通信中着信を「ON」に設定すると、通信の内容によって次の動作になります。Eメール通信中や通信中着信が「OFF」のときは、新しい着信には対応できません。


新しい着信の内容 通信中の内容		音声	ライト メール	Eメール 自動受信通知	PIAFS	着信型 位置情報通知	非サポートの ユーザ・ ユーザ方式
通話		△※1	×	△※2	△※3	△※4	△※5
PIAFS ※6		△	×	△	△	△	△
パケット方式		○	○	○	○	○	○
フレックス チェンジ 方式	PIAFS ※6	△	×	△	△	△	△
	パケット 方式	○	○	○	○	○	○



○：新しい着信に切り替えることができます。切り替えた着信を切断すると、待ち受け画面に戻ります。


△：新しい着信が通知されます。

×：新しい着信には対応できません。着信履歴も記録されません。

※1：通知音が鳴り、バックライトが点灯（設定が「OFF」のときは微灯）し、「着信がありました」というメッセージと電話番号が表示されます。着信履歴には「不在着信（音声）」と記録されます。メッセージは  で消すことができます。メッセージを消さずに通信を切断すると、待ち受け画面に「」が表示され、リマインダーを「ON」に設定しているときは着信LEDが点滅します。

※2：通知音が鳴り、バックライトが点灯（設定が「OFF」のときは微灯）し、「センターにEメールあり XXX」というメッセージが表示されます。「XXX」はメールアカウントのセンター名称で、情報があるときだけ表示されます。着信履歴は記録されません。メッセージは  で消すことができます。通信の切断後にEメールは自動的に受信され、メッセージは消えます。

※3：通知音が鳴り、バックライトが点灯（設定が「OFF」のときは微灯）し、「データ着信がありました」というメッセージと電話番号が表示されます。着信履歴に「不在着信（データ）」と記録されます。USB接続中でも、着信履歴に記録されます。メッセージは  で消すことができます。メッセージを消さずに通信を切断すると、待ち受け画面に「」が表示され、リマインダーを「ON」に設定しているときは着信LEDが点滅します。

- ※4：自動位置情報送受信機能が「ON」のときに、新しい着信が通知されます。通知音が鳴り、バックライトが点灯（設定が「OFF」のときは微灯）し、「位置情報通知着信がありました」というメッセージが表示されます。着信履歴は記録されません。メッセージは  で消すことができます。メッセージを消さずに通信を切断すると、メッセージは消えます。
- ※5：「音声」時と同じ動作になります。
- ※6：「通話」時と同じ動作になります。ただし、通知音は鳴りません。また、本電話機でPIAFS通信(Web閲覧)中のときは、バックライトは点灯（設定が「OFF」のときは微灯）しますが、メッセージ等の通知は表示されません。

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。
- 「通信中着信」を「ON」に設定していても、他機能の設定により、通話中またはPIAFS通信中の動作は次のようになります。
 - ・ 「発番号非通知ガード」を「ON」に設定しているときは、通知処理は行われません。着信履歴には「ユーザ非通知」、「公衆電話発信」または「通知不可能」として記録されます。「番号非通知の電話を受けない（発番号非通知ガード）」（※P 11-3ページ）
 - ・ 「着信拒否」として登録してある電話番号を着信したときは、通知処理は行われません。着信履歴にも記録されません。「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）」（※P 11-4ページ）
 - ・ 留守録や安全運転モードが設定されているときでも、通信中着信は動作します。「留守録を設定する」（※P 7-55ページ）、「安全運転モードを設定する」（※P 7-47ページ）
 - ・ ライトメールをリモート着信したときは、通知処理は行われません。サブアドレス付き発信をリモート着信したときは、「音声」着信時と同じ動作になります。
 - ・ 国際ローミングメールを着信したときは、通知処理は行われません。
 - ・ 「Eメール制限」を「ON」に設定していても、通知処理は行われます。「Eメールを制限する」（※P 11-20ページ）
 - ・ 保留中、通話録音中など、通話中に他の機能が動作しているときは、通知音が鳴らない場合があります。
- 「通信中着信」を「ON」に設定していても、通信状況によっては着信できない場合があります。

暗証番号を設定する

ダイヤルロック、オートロック、電話帳ロックを設定／解除するときには暗証番号の入力が必要です。暗証番号は、1～6桁の数字で設定します。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

  と押す

2 を押して「1.暗証番号」を選択し、

 (決定) を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで現在の暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

4 (決定) を押す

暗証番号が間違っているときは、「暗証番号が違います」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

5 ダイヤルボタンで新しい暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

6 (決定) を押す

7 確認のため、もう一度新しい暗証番号をダイヤルボタンで入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

8 (決定) を押す

新しい暗証番号に設定され、「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

▶ 確認の暗証番号が間違っていたとき

エラー音が鳴り、入力した暗証番号が消えます。

もう一度、手順7に従って、手順5で入力した新しい暗証番号を入力してください。

お知らせ

- 設定した暗証番号をお忘れになったときは、電話機本体とウィルコム契約申込書の控え、または契約されたご本人であることを確認できるもの(運転免許証など)をご準備のうえ、お問い合わせ窓口へお申し出ください。「お問い合わせ窓口」(※A-27ページ)
- 管理者パスワードについては、「管理者ロック機能の設定をする」(※11-18ページ)を参照してください。

ボタン操作をロックする (キーロック)

鞆に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンが押されても動作しないようにロックできます。

キーロックを設定する

1 キーロックスイッチを上げる

待ち受け画面に「キーロック」と表示されます。

キーロックスイッチは本体右側の側面にあります。「各部の名前」(※1-8ページ)

▶ 操作中の画面でキーロックスイッチを上げたとき



すぐにキーロック状態にはならず、待ち受け画面に戻ったときにキーロック状態になります。

キーロックを解除する

1 キーロックスイッチを下げる

「キーロック」の表示が消えます。

お知らせ

- キーロック中でもかかってきた電話は受けることができます。
- キーロック中は、を押して電源を切ることができません。
- キーロック中も、を押して電源を入れることができます。
- キーロック中にボタンが押された場合、「キーロック中微灯」の設定にしたがってバックライトが微灯になります。「キーロック中微灯を設定をする」(※12-9ページ)

ダイヤルをロックする

他の人に無断で利用されないようにダイヤルをロックして、電話をかけられないようにできます。ダイヤルロックを設定するには、暗証番号の入力が必要になります。お買い上げ時の暗証番号は「0000」に設定されています。暗証番号は変更することができます。「暗証番号を設定する」(※P.11-8ページ)

ダイヤルロックを設定する

1 待ち受け画面で (Menu ボタン)

 と押す

2 ダイヤルボタンで暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

3 ○ (決定) を押す

ダイヤルロックが設定され、「ダイヤルロックを設定しました」と表示されます。

待ち受け画面には「」が点灯します。

■ ダイヤルオートロック中でも

- かかってきた電話に出ることができます。
- 110番、118番、119番の緊急通報に電話をかけることができます。

お知らせ

- 暗証番号が一致しないと、エラー音が鳴ります。もう一度暗証番号を入力してください。3回続けて間違った暗証番号を入力すると、自動的に電源が切れます。

ダイヤルロックを解除する

1 待ち受け画面で、ダイヤルボタンで暗証番号を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

2 ○ (決定) を押す

ダイヤルロックが解除され、「ダイヤルロックを解除しました」と表示されます。

「」の表示が消えます。

お知らせ


- 暗証番号が一致しないと、エラー音が鳴ります。もう一度暗証番号を入力してください。3回続けて間違った暗証番号を入力すると、自動的に電源が切れます。

無操作が続いたときにダイヤルロックする（オートロック）

待ち受け画面で一定時間ボタン操作がない場合に自動的にダイヤルロック状態にすることができます。OFF、5分、10分、30分から選択できます。「ダイヤルをロックする」(※ 11-10ページ)


オートロックの設定には、暗証番号の入力が必要になります。お買い上げ時の暗証番号は「0000」に設定されています。暗証番号は変更することができます。「暗証番号を設定する」(※ 11-8ページ) また、オートロックを使用するには、あらかじめ日付・時刻を設定しておく必要があります。

1 待ち受け画面で  (Menuボタン)
  と押す

2  を押して「1.オートロック」を選択し、○ (決定) を押す

3 ダイヤルボタンで暗証番号を入力し、○ (決定) を押す

入力した番号は「*」と表示されます。

4  を押して時間を選択し、○ (決定) を押す

設定が完了し、「設定しました」と表示されたあと、待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- リモートロックについては、「紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）」(※ 11-12ページ) を参照してください。
- 管理者ロックについては、「管理者による制限を行う（管理者ロック）」(※ 11-18ページ) を参照してください。

紛失／盗難時に電話機をロックする（リモートロック）

リモートロック機能の概要

本電話機をどこかに置き忘れたり紛失したりした場合、個人情報の漏洩や電話機の悪用などを防ぐために、「リモートロック」機能を利用できます。
他の電話機から本電話機にコマンド（命令）を送ることで、電話機をロックして使用できなくなったり、登録されているデータを消去したりできます。

■リモートロック機能でできる処理

①リモートロック

電話機をロックして、ほとんどの操作ができないようにします。

着信を受けて通話することや、電源のON・OFFは可能ですが、発信、メール作成・送信はできなくなります。電話帳やリダイヤル／着信履歴などを見ることもできません。また、エニーキーアンサーの設定も無効になります。「エニーキーアンサー」(※ 12-11 ページ)

②リモートロック＋消去

①に加え、電話機に登録されているデータ・設定情報を、一括して消去・初期化します。消去・初期化される項目は、「完全消去＋初期化」で消去・初期化される項目とほぼ同じです。「完全消去＋初期化」(※ 11-27 ページ) ただし、以下の4項目は初期化されません。

- ・暗証番号 (※ 11-8 ページ)
- ・リモートロック設定 (※ 11-13 ページ)
- ・管理者パスワード (※ 11-18 ページ)
- ・管理者ロック設定 (※ 11-18 ページ)

③リモートロック解除

リモートロックを解除し、通常の操作ができる状態に戻します。

■リモートロックの実行

上記①～③の各処理は、以下のいずれかの方法でコマンドを送ることにより実行します。

- ・サブアドレス付き発信（サブアドレス通知可能な PHS 電話機や、ISDN 公衆電話機などの ISDN 対応電話機から）
- ・ライトメール送信（ライトメール対応の PHS 電話機から）
 - コマンドを送ると、本電話機はコマンド実行待ちの状態になります。その後、本電話機に対しキー入力・USB ケーブル抜き差しなどの操作がされた時点で、コマンドが実行され、上記①②の場合は待ち受け画面の下部に「☆☆☆☆☆☆」と表示されます。

お知らせ

- リモートロックを実行すると、以下の機能は無効になります。
 - ・着信者表示機能、指定着信音機能、ピクチャー表示機能 (※ 7-30 ページ)
 - ・留守録 (※ 7-55 ページ)
- リモートロックを実行すると、目覚まし音、スケジュールのアラーム音は鳴らなくなります。
- リモートロックを実行すると、設定されていた壁紙は非表示になります。ロックを解除すると再表示されます。
- 「リモートロック」、「リモートロック＋消去」のコマンドを送信した場合も、キー入力などの操作がされないうちに「リモートロック解除」のコマンドを送信すれば、前のコマンドは無効となり、ロックやデータ消去は実行されません。
- 悪意のあるいたずらや操作の誤りなどにより、リモートロック機能でデータが消去された場合でも、当社としては責任を負いかねます。第三者にリモートロック機能を使用されたくない場合は、設定を OFF にしてください。
- リモートロックは、ウィルコム社のオンラインサポート（My WILLCOM）からも実行することができます。

リモートロック機能の設定をする

リモートロック機能を利用する準備として、パスワードを設定します。また、サブアドレス付き発信による操作、ライトメールによる操作について、それぞれ設定を行います。

リモートロック設定画面を表示する

リモートロック機能に関する設定は、リモートロック設定画面から行います。
リモートロック設定画面は以下の手順で表示します。

1 待ち受け画面で **Menu** (Menu ボタン)
9977 **6543** と押す

2 **OK** を押して「2. リモートロック」を選択し、**OK** (決定) を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで暗証番号を入力する
ここで入力するのは、「暗証番号を設定する」(※P.11-8ページ)で設定した暗証番号です。
入力した番号は「*」と表示されます。

▶ 暗証番号を修正するには

最後の1桁を消す：**DEL** を押す
すべての桁を消す：**DEL** を約1秒以上押す

4 **OK** (決定) を押す

リモートロック設定画面が表示されます。

お知らせ

- 暗証番号が一致しないと、エラー音が鳴り、「暗証番号が違います」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。

パスワードを設定する

最初に、リモートロック機能用のパスワードを設定します。

パスワードは、4～8桁の数字で設定します。

実際にリモートロック機能を使う際には、ここで設定したパスワードを入力して命令(コマンド)を送ることになります。

1 リモートロック設定画面で、**OK** を押して「1. パスワード設定」を選択し、**OK** (決定) を押す

パスワードの入力画面が表示されます。

2 ダイヤルボタンでパスワードを入力する

▶ パスワードを修正するには

最後の1桁を消す：**DEL** を押す
すべての桁を消す：**DEL** を約1秒以上押す

3 **OK** (決定) を押す

「設定しました」と表示され、リモートロック設定画面に戻ります。



お知らせ

- 設定したパスワードを忘れないようご注意ください。忘れると、本電話機を紛失などした場合にリモートロック機能が使用できません。

サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする

サブアドレス付き発信によってリモートロックなどの操作ができるように設定します。特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定することもできます。許可電話番号は2件まで登録できます。



- 許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでも操作が実行できます。

1 リモートロック設定画面で、 を押し、**「3.サブアドレス起動」** を選択し、 **（決定）** を押す

サブアドレス起動設定画面が表示されます。

▶ パスワードが未設定のとき

リモートロック機能用のパスワードが未設定の場合、「3.サブアドレス起動」は選択できません。先にパスワードを設定してください。「パスワードを設定する」(P.11-13ページ)



2  を押し、「1.ON」を選択し、 **（決定）** を押す

許可電話番号の設定画面が表示されます。

▶ 「2.OFF」を選択したとき

「設定しました」と表示され、リモートロック設定画面に戻ります。（この場合、サブアドレス付き発信での操作は実行できません。）

3 許可電話番号を設定する場合は手順4に、設定しない場合は手順8に進む

4  を押し、「1.許可電話番号1」を選択し、 **（決定）** を押す

電話番号の入力画面が表示されます。

5 **ダイヤルボタン**で電話番号を入力する

電話番号は32桁まで入力できます。

▶ 電話番号を修正するには

最後の1桁を消す： を押す

すべての桁を消す： を約1秒以上押す

▶ **設定済みの許可電話番号を未登録に戻すには**

設定されている電話番号を消し、未入力の状態にしてから、手順6に進む

6  **（決定）** を押す

「設定しました」と表示され、手順2の許可電話番号の設定画面に戻ります。

7 必要であれば、手順4～6の要領で「2.許可電話番号2」を同様に設定する

8 設定が完了したら  を押す


待ち受け画面に戻ります。

ライトメールでのリモートロックの設定をする

ライトメールでリモートロックなどの操作ができるように設定します。

特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定することもできます。許可電話番号は2件まで登録できます。


- 許可電話番号を登録しない場合は、どの電話番号からでもライトメールで操作が実行できます。

- 1 リモートロック設定画面で、 を押して「2.ライトメール起動」を選択し、
○（決定）を押す

ライトメール起動設定画面が表示されます。

▶ パスワードが未設定のとき

リモートロック機能用のパスワードが未設定の場合、「2.ライトメール起動」は選択できません。先にパスワードを設定してください。「パスワードを設定する」(※ 11-13ページ)


- 2  を押して「1.ON」を選択し、
○（決定）を押す

許可電話番号の設定画面が表示されます。

▶ 「2.OFF」を選択したとき

「設定しました」と表示され、リモートロック設定画面に戻ります。（この場合、ライトメールでの操作は実行できません。）

- 3 許可電話番号を設定する場合は手順4に、設定しない場合は手順8に進む

- 4  を押して「1.許可電話番号1」を選択し、
○（決定）を押す

電話番号の入力画面が表示されます。

- 5 ダイヤルボタンで電話番号を入力する
電話番号は32桁まで入力できます。

▶ 電話番号を修正するには

最後の1桁を消す： を押す

すべての桁を消す： を約1秒以上押す


- ▶ 設定済みの許可電話番号を未登録に戻すには

設定されている電話番号を消し、未入力の状態にしてから、手順6に進む

- 6 ○（決定）を押す

「設定しました」と表示され、手順2の許可電話番号の設定画面に戻ります。

- 7 必要であれば、手順4～6の要領で「2.許可電話番号2」を同様に設定する

- 8 設定が完了したら  を押す
待ち受け画面に戻ります。

リモートロックを実行する

本電話機を紛失などした場合に、他の電話機からのサブアドレス付き発信またはライトメールにより、リモートロックやデータ消去を実行します。

サブアドレス付き発信で実行する

サブアドレス通知可能なPHS電話機や、ISDN公衆電話機などのISDN対応電話機から発信することにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。

本電話機の電話番号のあとに、サブアドレスとしてコマンド文字列を入力し、発信します。

- 本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機から発信する必要があります。
「サブアドレス付き発信でのリモートロックの設定をする」(※11-14ページ)
- 上記の場合、許可電話番号から発信しても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	01xxxxxxxx
②リモートロック+消去	03xxxxxxxx
③リモートロック解除	00xxxxxxxx

xxxxxxxxは、リモートロック機能用のパスワードを示します。
「パスワードを設定する」(※11-13ページ)

■入力例

たとえば、電話番号「070-1234-XXXX」、設定パスワード「1234567」の電話機に対しリモートロックを実行する場合は、下記のように入力し、発信します。

0701234XXXX * 011234567

電話番号とサブアドレスの間の区切り記号（上記の例の「*」）は、電話機によって異なります。発信に使用する電話機の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- この機能でコマンドを送った場合、受信側の電話機（本電話機）に着信履歴は残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信LED、リマインダーも点灯しません。
- 正しいコマンドが送信されると、送信側の電話機には「ビボ」という確認音が聞こえます。
- オフィスモードの場合、使用しているオフィスシステム（PBX）によっては、確認音が鳴らないことがあります。

ライトメールで実行する

他の電話機からライトメールでコマンド（命令）を送ることにより、本電話機に対しリモートロックなどの操作を実行します。

ライトメールの宛先に本電話機の電話番号を、本文にコマンド文字列を入力して送信します。

- 本電話機が、特定の電話番号（許可電話番号）からの操作だけを受け付けるよう設定されている場合は、その電話番号の電話機からライトメールを送る必要があります。
「ライトメールでのリモートロックの設定をする」（※11-15ページ）
- 上記の場合、許可電話番号からライトメールを送っても、発信者番号が非通知または通知不可能になっていると、操作は実行されません。

■コマンド文字列

操作の種類	コマンド文字列
①リモートロック	ソウサ 1xxxxxxxx
②リモートロック+消去	ソウサ 3xxxxxxxx
③リモートロック解除	ソウサ 0xxxxxxxx

コマンド文字列は、全角・半角のどちらでも有効です。

xxxxxxxxは、リモートロック機能用のパスワードを示します。

「パスワードを設定する」（※11-13ページ）

■入力例

たとえば、電話番号「070-1234-XXXX」、設定パスワード「1234567」の電話機に対してリモートロックを実行する場合は、ライトメールの画面で宛先に「0701234XXXX」、本文に「ソウサ11234567」と入力し、送信します。

ライトメール送信の操作の詳細については、「ライトメールを使用する」（※8-43ページ）を参照してください。

お知らせ

- 受信側の電話機（本電話機）が電波の届かない場所（圏外）にある場合や、電源が入っていない場合、この機能は使用できません。
- 受信側の電話機（本電話機）の待受モードが「グループモード」または「電話帳転送モード」になっている場合、この機能は使用できません。
- コマンド文字列は正しく入力してください。間違いがあると、リモートロックなどの操作は実行されません。
- コマンド文字列に他の文字（空白、改行を含む）を入力したり、アニメーションをつけて送信したりすると、正しいコマンドとして認識されません。
- コマンド送信用のライトメールおよびその着信履歴は、受信側の電話機（本電話機）には残りません。また、受信時に着信音は鳴りません。着信LED、リマインダーも点灯しません。
- ライトメールが正常に送信されると、送信側の電話機にはライトメール送信完了画面が表示されますが、これは必ずしも受信側の電話機（本電話機）がコマンドを正しく受信したことを示すものではありません。

管理者による制限を行う（管理者ロック）

管理者ロック機能の概要

「管理者ロック」の機能を利用して、本電話機で使用できる以下の機能を制限することができます。

- ・Eメール機能
- ・Web機能
- ・ダイヤルアップ機能
- ・USB接続機能
- ・発信機能
- ・着信機能

■管理者ロック機能でできる処理

管理者ロックでは、Eメールの送受信、Web接続、USB接続などの機能を使用できないようにしたり、ダイヤルアップの接続先をウィルコムに限定したりできます。また、電話帳に登録されている番号に限定して発信を許可したり、電話番号の先頭の桁数が、あらかじめ登録した番号と一致する場合のみ発信を許可したりするなど一部の機能を制限することができます。

お知らせ

- 管理者ロック機能を利用するには、管理者パスワードの入力が必要です。「管理者パスワードを設定する」(※同ページ内です。)
- 管理者パスワードと管理者ロックの各種設定は、完全消去+初期化をすると初期値に戻ります。「完全消去+初期化する」(※11-28ページ)
- 管理者ロック機能をご利用になる場合は、目的とする制限がかかる事を実際に動作確認いただいた後に、ご利用いただけますようお願い致します。設定の誤りや、動作確認を行っていなかったことにより、目的とする制限がかからなくても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

管理者ロック機能の設定をする

管理者ロック機能を利用するには、管理者パスワードの入力が必要です。



管理者ロック機能の設定には、Eメール制限、Web制限、ダイヤルアップ制限、USB制限、発信制限、着信制限、先頭一致発信許可があります。

管理者パスワードを設定する

管理者ロックの設定や完全消去+初期化を実行するには、管理者パスワードの入力が必要です。

管理者パスワードは、4～8桁の数字で設定します。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

1 待ち受け画面で  (Menu ボタン)
  と押す

2  を押して「2. 管理者パスワード」を
選択し、 (決定) を押す

管理者パスワードの入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで現在の管理者パスワード
を入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

4 ○ (決定) を押す

管理者パスワードが間違っているときは、「管理者パスワードが違います」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

5 ダイヤルボタンで新しい管理者パスワードを入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

6 ○ (決定) を押す**7** 確認のため、もう一度新しい管理者パスワードをダイヤルボタンで入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

8 ○ (決定) を押す

新しい管理者パスワードに設定され、「設定しました」と表示され、待ち受け画面に戻ります。

▶ 確認の管理者パスワードが間違っていたとき

エラー音が鳴り、入力した管理者パスワードが消えます。

もう一度、手順7に従って、手順5で入力した新しい管理者パスワードを入力してください。

お知らせ

- 設定した管理者パスワードをお忘れになったときは、電話機本体とウィルコム契約申込書の控え、または契約されたご本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をご準備のうえ、お問い合わせ窓口へお申し出ください。「お問い合わせ窓口」(P. A-27ページ)
- 完全消去+初期化をすると、管理者パスワードは、お買い上げ時の設定「0000」に戻ります。


管理者ロック設定画面を表示する

管理者ロック機能に関する設定は、管理者ロック設定画面から行います。

管理者ロック設定画面は以下の手順で表示します。

1 待ち受け画面で  (Menuボタン)

  と押す

2  を押して「3. 管理者ロック」を選択し、○ (決定) を押す

管理者パスワードの入力画面が表示されます。

3 ダイヤルボタンで管理者パスワードを入力する

ここで入力するのは、「管理者パスワードを設定する」(P. 11-18ページ)で設定した管理者パスワードです。

入力した番号は「*」と表示されます。

▶ 管理者パスワードを修正するには

最後の1桁を消す： を押す

すべての桁を消す： を約1秒以上押す

4 ○ (決定) を押す



管理者ロック設定画面が表示されます。

お知らせ



- 管理者パスワードが一致しないと、エラー音が鳴り、「管理者パスワードが違います」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。

Eメールを制限する

Eメールの送受信とオンラインサインアップができないようにします。「メールアカウントを設定する」(※8-5ページ)




- 1 管理者ロック設定画面で、を押して「1. Eメール制限」を選択し、 (決定) を押す

Eメール制限設定画面が表示されます。

- 2 を押して「1.ON」を選択し、 (決定) を押す



「設定しました」と表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ



- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- Eメール制限を「ON」に設定した場合、Eメールの送受信やオンラインサインアップをすると、「Eメール制限設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。
- Eメール制限を「ON」に設定した後、ウィルコムメールサーバーからEメール自動受信の通知を受けた場合は、「センターにEメールがあります」と表示され、Eメールの受信は行いません。また、待ち受け画面に「」が点灯します。「」を選択し、決定をすると「Eメール制限設定中です」のメッセージが表示され「」の表示は消えます。「Eメールを受信する」(※8-13ページ)
- Eメール制限を「ON」に設定しても、オフィスモードでのEメール送受信は制限されません。
- Eメール制限を「ON」に設定しても、パソコンからのEメール送受信は制限されません。パソコンからのEメールの送受信も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」(※11-21ページ)

Webを制限する

Web接続ができないようにします。

- 1 管理者ロック設定画面で、を押して「2. Web制限」を選択し、 (決定) を押す

Web制限設定画面が表示されます。

- 2 を押して「1.ON」を選択し、 (決定) を押す

「設定しました」と表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。



お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- Web制限を「ON」に設定した場合、Web接続をすると、「Web制限設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。
- Web制限を「ON」に設定しても、オフィスモードでのWeb接続は制限されません。
- Web制限を「ON」に設定しても、パソコンからのWeb接続は制限されません。パソコンからのWeb接続も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」(※11-21ページ)



ダイヤルアップを制限する

ウィルコムへのダイヤルアップ接続のみを許可し、ウィルコム以外のプロバイダにダイヤルアップ接続することができないようにします。

ダイヤルアップの接続先の電話番号が、ウィルコムのダイヤルアップ接続の電話番号の先頭9桁と一致した場合のみ、ダイヤルアップ接続が可能になります。

- 1 管理者ロック設定画面で、を押して「3. ダイヤルアップ制限」を選択し、
（決定）を押す

ダイヤルアップ制限設定画面が表示されます。

- 2 を押して「1.ウィルコムのみ」を選択し、（決定）を押す



「設定しました」と表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ



- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- ダイヤルアップ制限を「ウィルコムのみ」に設定した場合、ウィルコムへのダイヤルアップ番号以外で、Eメール送受信やWeb接続をすると、「ダイヤルアップ制限設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。
- ダイヤルアップ制限を「ウィルコムのみ」に設定しても、オフィスモードでのダイヤルアップ接続は制限されません。
- ダイヤルアップ制限を「ウィルコムのみ」に設定しても、パソコンからのダイヤルアップ接続は制限されません。パソコンからのダイヤルアップ接続も制限する場合は、USB接続の制限も同時に設定してください。[USB接続を制限する]（※同じページ内です。）

USB接続を制限する

USB接続をして使用する機能（Eメール送受信、Web接続、データ通信、ファイル転送など）への接続ができないようにします。

- 1 管理者ロック設定画面で、を押して「4. USB制限」を選択し、（決定）を押す

USB制限設定画面が表示されます。

- 2 を押して「1.ON」を選択し、
（決定）を押す



「設定しました」と表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ



- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- USB制限を「ON」に設定した場合、USB接続をして使用する機能を実行しようとすると、パソコン上でエラーとなります。
- USB制限を「ON」に設定した場合でも、USB充電は可能です。

発信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、発信とライトメールの送信ができるようにし、それ以外の電話番号への発信ができないようにします。

- 1 管理者ロック設定画面で、 を押し、**「5. 発信制限」**を選択し、（決定）を押す

発信制限設定画面が表示されます。

- 2  を押し、「1.ON」を選択し、（決定）を押す



「設定しました」と表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ



- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 発信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）以外に、発信やライトメールの送信をすると、「発信制限設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。また、リダイヤルは残りません。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除、および電話帳の転送はできなくなります。
- 発信制限を「ON」に設定した場合、位置情報通知機能（発信型）の発信も制限されます。発信を許可したい場合は、電話帳に発信先の電話番号を登録してください。「発信型機能を利用する」（※P.12-23 ページ）
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、先頭に184または186を付けて発信することは可能です。
- 発信制限を「ON」に設定した場合でも、以下の発信は可能です。
110（警察）、116（PSC）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージ有り確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、*21（AIR-CONFERENCE）、*931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。
- 発信制限を「ON」に設定しても、ファイル転送の機能は制限されないため、外部からの電話帳の書き換えを制限するには、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」（※P.11-21 ページ）

着信を制限する

電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）のみ、着信とライトメールの着信ができるようにし、それ以外の電話番号から着信ができないようにします。

- 1 管理者ロック設定画面で、 を押し、
「6. 着信制限」を選択し、（決定）
を押す

着信制限設定画面が表示されます。

- 2  を押し、「1.ON」を選択し、
（決定）を押す

「設定しました」と表示され、管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 着信制限を「ON」に設定しても、オフィスモード、グループモードでの着信は制限されません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳に登録されている電話番号（シークレットの電話帳データも含む）以外からの着信があった時は、着信音やバイブレータは動作せず、相手側には「ツーツーツー」という音が聞こえます。着信を制限された相手からの着信は、着信履歴に残りません。
- 着信制限を「ON」に設定した場合、電話帳の登録、修正、削除、および電話帳の転送ができなくなります。
- 着信制限を「ON」に設定した場合でも、110（警察）、118（海上保安庁）、119（消防等）からの着信は可能です。また、ウィルコムからのメール通知は着信できます。
- 電話帳に登録されている電話番号からの着信でも、着信拒否が設定されている相手から電話がかかってきたり、ライトメールが送られてきたりしたときには、着信を拒否します。「特定の番号からの電話を受けない（着信拒否）」（[※11-4ページ](#)）
- 着信制限を「ON」に設定しても、ファイル転送の機能は制限されないため、外部からの電話帳の書き換えも制限するには、USB接続の制限も同時に設定してください。「USB接続を制限する」（[※11-21ページ](#)）



先頭一致発信を許可する

先頭一致発信とは、あらかじめ登録した電話番号の先頭数桁と、ダイヤルした電話番号とが一致した場合に発信を許可する機能です。



ダイヤルした電話番号が、登録した番号と一致すれば発信することができます。

先頭一致発信許可番号は、10件まで登録できます。

先頭一致発信許可番号の10件全てが、「未登録」の場合には、先頭一致発信許可機能は動作せず、全ての電話番号が発信可能となります。

- 1 管理者ロック設定画面で、 を押し、
「7. 先頭一致発信許可」を選択し、
（決定）を押す



先頭一致発信許可設定画面が表示されます。

- 2  を押し、「1.未登録」を選択し、
（決定）を押す

先頭一致発信許可番号入力画面が表示されます。

- 3 ダイアルボタンで先頭一致発信許可番号
を入力する

先頭一致発信許可番号は11桁まで入力できます。
184または186から始まる番号は登録できません。

- ▶ 先頭一致発信許可番号を修正するには
最後の1桁を消す： を押す
すべての桁を消す： を約1秒以上押す

▶ 設定済みの先頭一致発信許可番号を未登録に戻すには

設定されている先頭一致発信許可番号を消し、未入力の状態にしてから、手順4に進む

4 ○ (決定) を押す

「設定しました」と表示され、手順1の先頭一致発信許可設定画面に戻ります。

5 必要であれば、手順2～4の要領で「2.未登録」～「0.未登録」を同様に設定する

6 設定が完了したら (戻る) を押す

管理者ロック設定画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時は「未登録」です。
- 先頭一致発信許可を設定しても、オフィスモード、グループモードでの発信は制限されません。
- 先頭一致発信許可の設定により発信が許可されなかったときは、「先頭一致発信許可設定中です」と表示された後、待ち受け画面に戻ります。また、リダイヤルは残りません。
- 位置情報通知機能（発信型）の発信も先頭一致発信許可の設定に従って、発信が許可されます。「発信型機能を利用する」(※P.12-23ページ)
- 先頭一致発信許可を設定した場合でも、先頭に184または186を付けて発信することは可能です。
- 先頭一致発信許可に関係なく、以下の発信は可能です。
110（警察）、116（PSC）、118（海上保安庁）、119（消防等）、141（留守番電話サービスメッセージ有り確認）、143（留守番電話のカスタマーコントロール）、157（データ通信専用窓口）、171（災害時伝言ダイヤル）、* 21（AIR-CONFERENCE）、* 931（留守番電話サービス再生）
- 発信制限を「ON」に設定し、同時に先頭一致発信許可も設定している場合は、電話帳に登録されている電話番号に加えて、先頭一致発信許可で設定した電話番号への発信も可能です。

機能制限一覧

管理者ロックによって制限される機能の一覧

管理者ロック設定 制限される機能	Eメール 制限	Web 制限	ダイヤル アップ制限	USB 制限	発信制限	着信制限	先頭一致 発信許可
音声発信	—	—	—	—	○ ※2	—	○ ※3
音声着信	—	—	—	—	—	○ ※2	—
ライトメール送信	—	—	—	—	○ ※2	—	○ ※3
ライトメール着信	—	—	—	—	—	○ ※2	—
Eメール送受信 (電話機単体)	○	—	○ ※1	—	—	—	—
Web接続 (電話機単体)	—	○	○ ※1	—	—	—	—
Eメール送受信 (パソコン接続)	—	—	—	○	—	—	—
Web接続 (パソコン接続)	—	—	—	○	—	—	—
データ通信の発信 (パソコン接続)	—	—	—	○	—	—	—
データ通信の着信 (パソコン接続)	—	—	—	○	—	○ ※2	—
リモートロック	—	—	—	—	—	—	—
ローミング登録用 ライトメール	—	—	—	—	—	—	—
位置情報通知機能 (発信型)	—	—	—	—	○ ※2	—	○ ※3
位置情報通知機能 (着信型)	—	—	—	—	—	—	—

○ : 制限あり

— : 制限なし

※1 : ウィルコムでのダイヤルアップのみ許可

※2 : 電話帳に登録されている電話番号のみ許可

※3 : 先頭一致発信で許可されている番号のみ許可

設定をリセットする（設定リセット）

設定した各機能を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。「リセット一覧表」（※P.11-29ページ）

1 待ち受け画面で （Menuボタン） と押す

設定リセットを行うかどうかを確認する画面が表示されます。

2 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 設定リセットを中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

3 ○（決定）を押す

もう一度、設定リセットを行うかどうかを確認する画面が表示されます。

4 を押して、「1.はい」を選択する

▶ 設定リセットを中止するとき

「2.いいえ」を選択し、○（決定）を押す

5 ○（決定）を押す

各機能がお買い上げ時の設定に戻り、「設定をリセットしました」と表示されます。

メモリー一括消去

電話帳などの登録内容を消去したり、各機能の設定を初期化します。

メモリー一括消去

メール・画像・メロディなどのデータを消去します。消去される項目は次の通りです。



消去される項目	参照ページ
ピクチャーBOXの画像	12-29
メロディBOXのダウンロードメロディ	12-26
ライトメール（送受信）	8-15、8-25
Eメール（送受信）	8-15、8-25
画面メモ	9-15
自作定型文	7-23
ユーザー辞書	7-19

完全消去＋初期化

本電話機の登録情報をすべて消去し、初期化します。ただし、公衆の電話番号・オフィスの電話番号は消去されません。「リセット一覧表」(※11-29ページ)

メモリー一括消去する

1 待ち受け画面で  (Menuボタン)
  と押す

2  を押して「1.メモリー一括消去」を選択し、 (決定) を押す

一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。


3  を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき

「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す


4  (決定) を押す

もう一度、一括消去を行うかどうかを確認する画面が表示されます。

5  を押して、「1.はい」を選択する

▶ 一括消去を中止するとき


「2.いいえ」を選択し、 (決定) を押す

6  (決定) を押す

データが一括消去され、「消去しました」と表示されます。

完全消去+初期化する

1 待ち受け画面で  (Menu ボタン)
  と押す

2  を押して「2.完全消去+初期化」を
選択し、 (決定) を押す


3  を押して「1.はい」を選択し、
 (決定) を押す

4 ダイヤルボタンで管理者パスワードを入力する

入力した番号は「*」と表示されます。

5 (決定) を押す

もう一度、確認画面が表示されます。

6  を押して「1.はい」を選択し、
 (決定) を押す

「完全消去+初期化中」としばらく表示されたあと、消去・初期化が完了します。消去・初期化の実行中は、電池パックを外したり電源を切らないでください。

リセット一覧表

		機能	設定リセット	完全消去+初期化	
メール	受信メール	振分設定 (フォルダ使用時)	なし (受信トレイ)	なし (受信トレイ)	
		フォルダ名変更	受信トレイ、フォルダA~F	受信トレイ、フォルダA~F	
		文字サイズ	通常	通常	
	送信メール	文字サイズ	通常	通常	
	Eメール送受信		-	-	
	新規作成		-	-	
	メール設定	メールアカウント設定	フォルダ使用	使用しない	使用しない
			センタ名称設定	-	なし
			受信メール (POP)	-	なし
			送信メール (SMTP)	-	なし
			アカウント	-	なし
			パスワード	-	なし
			メールアドレス	-	なし
			Eメール自動受信機能	-	ON (オンラインサインアップのアカウントのみ)
			名前	-	なし
			返信メールアドレス	-	なし
			Eメール削除設定	-	削除
			POPポート番号	-	110
			SMTPポート番号	-	25
		POP before SMTP	-	ON	
		POP before SMTP 待ち	-	0秒	
		受信行数制限設定	-	ON	
		受信行数	-	600行	
		認証方式設定	-	POP	
		メール自動巡回公衆	-	ON	
		メール自動巡回オフィス	-	OFF	
	引用/署名設定	本文引用	本文引用	OFF	OFF
引用文			なし	なし	
署名設定		署名	OFF	OFF	
		署名文	なし	なし	
オンラインサインアップ		未設定	-		
オフィシャルメニュー		-	-		
インターネット		-	なし		
Web	ブックマーク	フォルダ名変更	フォルダA~E	フォルダA~E (JRC サイト: 消去可能)	
		ラストURL	-	なし	
	Web設定	画面メモ		-	なし
		画像表示設定	ON	ON	
		BGM再生設定	ON	ON	
		文字サイズ設定	通常	通常	
		応答待ち時間設定	60秒	60秒	
		SSL証明書	5件全て有効	5件全て有効	
Cookie設定	ON	ON			
電話帳	電話帳ロック	-	解除 (パスワード入力が必要)		
	電話帳シークレット	-	表示しない (パスワード入力が必要)		
	電話帳一括消去	-	-		
	電話帳グループ名	-	グループ1~グループ0		
	電話帳転送	-	-		

機能			設定リセット	完全消去+初期化		
アクセサリ	スケジュール		—	全て消去		
	目覚まし		OFF、00:00	OFF、00:00		
	メロディBOX		—	プリセット5曲		
	ピクチャーBOX		壁紙解除	全て消去		
	電卓		—	—		
録音再生	USB 充電		高速	高速		
	留守録設定		OFF	OFF		
	安全運転モード設定		OFF	OFF		
	メモ録音		—	—		
	録音再生		—	全て消去 (メモ録音、通話録音、留守録音)		
	録音一括消去		—	—		
	応答メッセージ		固定メッセージ	固定メッセージ		
	留守録応答時間		12秒	12秒		
安全運転モード種類		—	電話機留守録			
音	着信音	公衆	パターン1	パターン1		
		Eメール	パターン2	パターン2		
		ライトメール	女性「メールです」	女性「メールです」		
		スケジュール	アラーム音	アラーム音		
		目覚まし	目覚ましベル	目覚ましベル		
		オフィス外線	パターン3	パターン3		
		オフィス内線	パターン4	パターン4		
		オフィス専用線	パターン5	パターン5		
		グループ	パターン9	パターン9		
	着信音量・バイブ	中、OFF	中、OFF			
オートサイレント		OFF (全て OFF) 00:00 ~ 07:00	OFF (全て OFF) 00:00 ~ 07:00			
保留音		バッハ プレリユード	バッハ プレリユード			
キータッチ音		ON	ON			
圏外警告音		ON	ON			
ディスプレイ	時計表示		大	大		
	色設定		パターン1	パターン1		
	バックライト	点灯時間	15秒	15秒		
		微灯時間	10秒	10秒		
		通話中微灯	OFF	OFF		
		充電台微灯	ON	ON		
	着信LED	キーロック中微灯	電源キーのみ	電源キーのみ		
		着信	色1	色1		
		メール着信	色2	色2		
		スケジュール	色4	色4		
目覚まし	色5	色5				
リマインダー		ON (色6)	ON (色6)			
通信	待受モード		—	公衆 (グループ、電話転送、公衆+グループモードに設定していた場合)		
	グループ登録		—	—		
	ダイヤルアップ設定	公衆	オンラインサインアップ連動	—	CLUB AIR-EDGE	
			手動設定	ダイヤルアップ名称	—	なし
				電話番号	—	なし
				ユーザー名	—	なし
				パスワード	—	なし
				送信メールアカウント	—	1つめ
				分計発信	—	OFF
				ワントタイム/パスワード	—	OFF (公衆手動、オフィスのみ)
IPアドレス自動取得				—	ON	
IPアドレス	—	なし				

機能				設定リセット	完全消去+初期化		
通信	ダイヤルアップ設定	公衆	手動設定	DNS 自動取得	—	ON	
				プライマリ DNS	—	なし	
				セカンダリ DNS	—	なし	
				HTTP Proxy	—	OFF	
				Proxy サーバ名	—	なし	
				Proxy ポート番号	—	8080	
		オフィス		—	未登録		
		公衆動作モード設定		オンラインサインアップ連動	オンラインサインアップ連動		
	位置情報通知		位置情報通知 LI	OFF	OFF		
			自動位置情報送出設定	OFF	OFF		
			着信音設定	ON	ON		
			通知許可番号	未登録	未登録		
			通知許可パスワード	8桁全て 0	8桁全て 0		
			自動位置情報送出機能	OFF	OFF		
	発信設定		発信者番号通知	ON	ON		
			サブアドレス	ON	ON		
			優先発信切替	オフィス・グループ	オフィス・グループ		
			外線発信番号	—	未登録		
			発信先応答通知	OFF	OFF		
			発信番号非通知ガード	全て OFF	全て OFF		
着信設定		着信拒否	—	未登録			
		通信中着信	ON	ON			
	データ通信方式		ベストエフォート	ベストエフォート			
	オフィス番号選択		—	未登録			
	国際ローミング	国・地域/事業者選択	—	日本			
		ローミング情報登録	—	なし			
その他				—	未登録		
		定型文編集		—	—		
		ユーザー辞書		—	—		
		メモリ使用状況表示		—	—		
		エネキーアンサー		OFF	OFF		
	ロック設定	オートロック			—	OFF	
			リモートロック	パスワード	—	—	
				ライトメール起動	許可電話番号 1	—	OFF、未登録
					許可電話番号 2	—	OFF、未登録
				着サブアドレス起動	許可電話番号 1	—	OFF、未登録
					許可電話番号 2	—	OFF、未登録
		管理者ロック		Eメール制限	—	OFF	
			Web 制限	—	OFF		
			ダイヤルアップ制限	—	OFF		
			USB 制限	—	OFF		
			発信制限	—	OFF		
			着信制限	—	OFF		
	暗証番号		暗証番号	—	0000		
			管理者パスワード	—	0000		
		設定リセット		—	—		
メモリー一括消去		メモリー一括消去	—	—			
		完全消去+初期化	—	—			
時刻設定		時刻設定	2007年01月01日00時00分	2007年01月01日00時00分			
		時刻の自動補正	ON	ON			
	プロフィール表示		—	—			
	ダイヤルロック設定		—	解除			

